

論文投稿規定

1. 投稿者の資格：本誌への投稿は会員に限る。
2. 論文の種別：論文の種別は、原著、報告・その他、依頼稿などで、未発表のものに限る。
 - a) 原著：研究成果をまとめたもので、目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論等が明確に論述されており、掲載の意義があると認められた論文。
 - b) 報告・その他：事例（症例）報告、施設内での実践事例、取り組みなどを報告した論文で、掲載が適当と認められたもの。
 - c) 依頼稿：会員に役立つもので、依頼した論文を原則とする。
3. 論文の長さ：原稿の字数は9200字以内（図表、文献を含む）とする。（原稿20頁相当）ただし、1図・表は450字分、掲載頁の1/2以上を占める大きさの図・表の場合は900字、掲載1頁を占める場合は1800字に換算する。論文の構成：原則として次のようにする。

表題、所属名、著者名（英文を付記）、要約、Ⅰ緒言（目的）、Ⅱ研究（実験）方法、Ⅲ成績（結果）Ⅳ考察、Ⅴ結語、文献、図、表の順序で、なお図、表にはそれぞれ番号を付け、原稿の欄外にその挿入箇所を明記する。
4. 倫理的配慮：人および動物を対象とする研究においては、倫理的に配慮し、その旨を論文中に明記すること。
5. 要約：要約は500字程度とする。
6. 原稿：A4版用紙を使用する。文字数は横22文字、縦42行とし、文字の大きさは10.5ポイントとする。
7. 用字、用語：原則として常用漢字、現代かなづかい、算用数字を用い、簡潔に記述する。
8. 文献の引用：論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献文字番号^{1) 2)}…をつけ、その順序に文献を並べる。著者が3名以上の場合は、他もしくはet al.と略して下さい。文献の記述は以下の通りにする。
 - 1) 雑誌の場合 著者名、論文名、雑誌名、出版年、巻数（号数）、頁始め～終わり。

例）佐藤太郎、青木次郎、山田三郎、他。思春期と月経異常。母性衛生。2014, 50(2), 65-68.

Johnson, H. and Smith, E.C.Premature labor and infant mortality. Am. J.Obstet. Gynecol., 1981, 141, 65-68.
 - 2) 単行本の場合 編者名、書名、発行地、発行所、発行年。

・単行本の一部を引用した場合 著者名、表題、編者名、書名、発行地、発行所、発行年、頁-頁。

例）松本五郎。受胎調節の実際。第一版。東京、神田書店、1980, 185-190.
 - 3) インターネットの場合
著者名、資料名、サイト名、出版（又はアップデート）年（月日）。
<URL>(資料にアクセスした日)
例）東海太郎。東海学序章。東海学入門サイト。2011。
<URL : //toukai.jp/tarou.html> (アクセス：2011年2月15日)
9. 掲載の順序：掲載の順序は原則として投稿順による。採用した原稿およびCD・DVD・USBは原則として返却しない。
10. 原稿の送付方法および送付先
 - (1) 初回投稿：投稿した論文の種類を初ページ右上に記載する。投稿にあたって①～③を送付すること。
 - ①オリジナル原稿とそのコピー1部と提出原稿がファイルに保存されたCDまたはDVD・USB
 - ②島根県母性衛生学会 投稿チェックリスト（記入したもの）1枚
 - ③受領通知用のハガキ（表に投稿者の住所、氏名を明記したもの）1枚
 - (2) 掲載決定後（査読後）の投稿：最終原稿とそのコピー1部と提出原稿がファイルに保存されたCDまたはDVD・USB、受領通知用のハガキ（表に投稿者の住所、氏名を明記したもの）1枚を同封する。
 - (3) 校正：著者が初校のみ行う。ただし、組版面積に影響を与えるような改変や組み換えは認めない。
 - (4) 原稿送付先は下記宛とし、表に論文在中と朱書きする。原稿受領後、受領通知を送付します。

受領通知が届かない場合はお問い合わせ下さい。

島根母性衛生学会雑誌編集部：〒693-8550 島根県出雲市西林木町151
島根県立大学出雲キャンパス内 島根母性衛生学会雑誌編集部
11. 論文の別刷が必要な場合は投稿者の負担とする。